

コミュニケーション活動

環境コミュニケーションの考え方

富士フィルムの環境コミュニケーションの基本は、積極的な情報開示です。環境においては社内外の関係者が多岐にわたるため、情報発信も様々な方法、媒体を用いることが大切だと考えています。

富士フィルムでは1996年より発行している環境レポートを中心に、表に示すような媒体を整え環境情報の公表に努めています。また、表以外にも、FUJIFILM NEWS(株主様向け)、FGひろば(印刷関係のお客様向け)などで環境の取り組みを紹介しています。

媒体	主な対象	
環境レポート	環境NGOをはじめ、社内外の関係者の方々全て	●
サイトレポート	事業所の近隣の住民の方々	●
ホームページ「環境関連情報」	お客様、一般の方々	●
ニュースリリース	マスコミ、お客様、一般の方々	●
MSDS	お客様	●
AIS* (Article Information Sheet)	お客様	
イエローカード	運送に従事される方	
法務条例等に基づく各種届出	行政	

* 39ページの用語集をご覧ください

●はホームページからダウンロード可能なものです

国内6事業場のサイトレポート発行

足柄工場、小田原工場、吉田南工場、富士宮工場、宮台技術開発センター、および朝霞技術開発センターでは、地域の住民の方々や自治体に環境保全への取り組みを理解していただけるよう、サイトレポートを発行しています。

各々のレポートでは事業場の環境施策の重点課題と実績、ゼロエMISSIONの推進、環境負荷低減の推移、環境会計などについて分かりやすく解説しています。

サイトレポートは富士フィルムのホームページからご覧いただけます(<http://www.fujifilm.co.jp/kankyoreport/index.html>)。

「写ルンです」循環生産自動化工場の見学

「写ルンです」循環生産自動化工場は1998年11月、リユース・リサイクルと生産とを同じ建物の中で行う世界初の工場としてオープンしました。ここでは「写ルンです」の見学コースが設けられ、リユース・リサイクル工程を実際にご覧いただけます。「写ルンです」循環生産自動化工場は小学生の環境学習や、中学生の修学旅行の見学コースにも選ばれています。2001年度は10,072人の方が見学され、オープン時からの累計では、37,780人の方がおこしになりました。見学された方からは「すばらしいリサイクル活動ですね」、「リサイクルの工程を知り、環境に関して再認識した」などの感想をいただいています。



2002年6月発行